

弥富市事務事業評価シート 平成29年度実施事業対象

PLAN	No.	39	1	事務事業名	保育所運営事業		細事務事業名	保育所運営事業		公的関与	1	シート作成日	平成30年6月29日				
	課名	児童課		グループ	保育		担当課長名	大木弘己		シート作成者名	小池 貢						
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 整備事業		<input checked="" type="radio"/> 5 施設の管理運営		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託						
		<input type="radio"/> 2 施設の建設		<input type="radio"/> 4 経常的事務事業					<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等						
	総合計画	政策目標	3 健やかでやさしいやとみ				実施計画	事業の開始・終了									
		施策項目	子育て支援の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当	平成	19	年度	～	平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策	子育てを支援する生活環境の整備				<input type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等		児童福祉法、弥富市立保育所条例 子ども・子育て支援法							
	個別計画	子ども・子育て支援事業計画															
	事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)											
		保育に欠ける未就学児童				・保育所に入所する子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場を提供します。 ・保育に関する専門性を有する職員が、家庭との緊密な連携の下に、養護及び教育を行います。											
事業の内容	・9公立保育所 南部保育所(定員200名)、桜保育所(定員175名)、ひので保育所(定員230名)、大藤保育所(定員90名)、白鳥保育所(定員160名)、弥生保育所(定員200名)、栄南保育所(定員90名)、西部保育所(定員100名)、十四山保育所(定員195名)で定員合計は、1440名です。 ・0歳から就学前までの乳幼児の保育をします。 ・延長保育については、全保育所で入所児の保護者の勤務時間に応じ、通常保育時間(8:00～16:00)以外の早朝(7:30～8:00)及び、夕方(16:00～19:00)の時間帯に保育をしています。 ・平成27年度より、家族の入院や冠婚葬祭など一時的に家庭での保育が困難となった児童(満8カ月～就学前)を保育する一時保育事業を白鳥保育所(定員おおむね5名)で開始しました。																
	成果指標	①	指標名	待機児童の数				②	指標名								
指標設定の考え方			待機児童がないようにします。				単位		人	指標設定の考え方							
平成 28 年度			平成 29 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度	平成 28 年度	平成 29 年度		平成 ※ 年度	目標平成 30 年度							
実績			0	実績	0	目標	※		目標	0	実績		実績		目標	※	目標
目標			0	目標	0	目標	※		目標	0	目標		目標		目標	※	目標
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	3	保育所費		
	直接事業費			平成 28	年度決算額		平成 29	年度決算額		平成 30	年度予算額						
		国・県支出金			20,719	千円	17,345	千円	17,345	千円							
		地方債				千円		千円		千円							
		その他特定財源			208,113	千円	206,120	千円	227,986	千円							
		一般財源			11,764	千円	25,346	千円	200	千円							
	計(A)			240,596	千円	248,811	千円	245,531	千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費			117,190	人	124,572	人	124,572	人							
		臨時職員工数・経費	127,000	人	203,200	千円	123,000	人	196,800	千円	123,000	人	196,800	千円			
		全体事業費(A+B)			1,252,407	千円	1,305,158	千円	1,301,878	千円							

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価			
	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	はい	いいえ		はい	いいえ			
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。			<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	保育に欠ける児童がある場合は、保育をする必要があります。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。			<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。			<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ
		4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。			<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。			<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	幼児期における集団生活は、就学前には必ず行う必要があり、保育に欠ける児童がある場合は、保育しなければなりません。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。			<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。			<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。			<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。			<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている		希望保育所に入所できないときはあるものの、概ね市民のニーズに应运っています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。			<input type="radio"/>	あまり上がっていない			<input type="radio"/>	あまり上がっていない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。			<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している			<input type="radio"/>	概ね達成している			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。			<input type="radio"/>	十分達成している			<input checked="" type="radio"/>	十分達成している			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。			<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	指定管理者制度や民間委託も将来的には検討を要します。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。			<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ		<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。			<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ		<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。			<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 2	総合評価 B	必要性 3	有効性 4	達成度 4	効率性 2	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実		<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実		<input type="radio"/> 現状維持	<input checked="" type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		
		<input type="radio"/> 縮小		<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		<input type="radio"/> 縮小		<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			
	当面の課題	・社会情勢の変化に伴い、低年齢児の入所希望や発達の気になる子どもが増加しているため、保育士及び場所の確保が課題となってきています。 ・保護者のニーズの多様化に対応するため、一時保育などの拡充の検討が必要です。 ・平成30年4月1日から保育料改定を実施しましたが、保育所運営に係る歳入が歳出に対し低い割合となっています。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見) ・保育所運営については、女性の社会参画により子育てサービスのニーズが高く、特に未満児の受入れが急務となっています。このため、こども園との連携も考慮する必要性を感じます。 ・保育所運営は、効率性も重視する必要がありますが、待機児童ゼロ施策を継続し、安心して子育てできる環境づくりに努める必要があります。 ・平成30年4月から保育料の改定を行いました。 ・保育所給食調理業務を計画的に民間委託に切り替えていきます。 ・平成31年10月からの保育無償化制度の実施を盛り込んだ適切な対応を講じる必要があります。						
課題解決のための改善計画	・給食調理業務委託を平成28年10月1日より栄南保育所で実施し、平成30年度はひので保育所を予定しており、順次整備していきます。												
備考	・平成31年10月から国が消費税増税に合わせ、保育料一部無償化を検討しています。												